

## 主な内容

- ◎OB総会決議事項報告
- ◎会長・副会長挨拶
- ◎シーズン予定
- ◎会計報告・予算計画
- ◎会費納入依頼
- ◎青木監督挨拶
- ◎今年度スタッフ・学生幹部
- ◎昨年度会費納入者一覧
- ◎編集後記



大東文化大学ラグビー部

# OB会会報

## 発行

大東文化大学ラグビー部OB会  
OB会事務局本部

平成24年7月1日発行  
埼玉県東松山市岩殿650-4  
大東文化大学ラグビー部合宿所内  
電話 0493-35-0412  
編集責任 OB会事務局

## 総会決議事項

平成23年度のOB総会は、5月19日に新宿三井クラブにて開催されました。

### 1. 三役改選

会 長 高松 宏惟 二期 再任  
副 会 長 古川 裕之 三期 再任  
事務局長 小森 徹志 十六期 再任

### 2. 23年度決算報告

別掲会計報告の通り承認されました。

### 3. 24年度予算案

別掲の予算案の通り承認されました。

### 4. 創部50周年記念について

事務局を中心とした計画を立案し全OB一丸となって開催する。  
開催時期と規模は今後の課題とする。

## ごあいさつ

大東文化大学ラグビー部OB会  
会長 高松 宏 惟 (2期)

OBの皆様には、全国各地でご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素から、OB会活動にご協力とご尽力をいただき、心よりお礼申し上げます。

この度の総会で会長に再推挙いただき、向う2年間務めさせていただくこととなりました。古川副会長及び小森事務局長をはじめとする事務局の皆様のお力をいただき、一体となって、大東大ラグビーのDNAを繋いでいくお手伝いができればと思料しております。一生懸命務めさせていただきますので、OBの皆様には、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

特に私から強調したいことが三つあります。

一つ目は、現役への「援助資金を増やす」ことであります。

このことがOB会の最大の使命と思料しております。平成23年度の会費納入協力者数は、会員約600名中80名ほどありました。援助資金がまだまだ不足しております。せめても半数の300名の皆様の浄財がいただけるように、働きかけをしていきたいと考えております。OB会員の皆様には、先輩・後輩への働きかけや、同級生への働きかけ等縦軸、横軸の働きかけをよろしくお願いいたします。

二つ目は、「創部50周年」のことであります。

記念すべき「創部50周年」が来年に迫ってきました。現役の皆様とジョイントして企画した式典に、沢山のOBの皆様がお集まりいただきワイワイ、ガヤガヤ談笑していただく、楽しいイベントに出来ますことを思料しております。沢山のOBの皆様のご参加をお願いしておきます。

三つ目は、「OBの皆様のパワーをいただきたい」ことであります。

一番の特効薬は「試合に勝つ」ことであると思料しております。沢山のOB皆様に「練習、試合」を観戦していただきたい。このことにより、上位クラス的位置をキープできるようなパワーをいただきたいと思料しております。

大東大は、大学日本一の地位を獲得するまで僅か23年で至った唯一の大学です。「夢をもう一度」OBの皆様のパワーをよろしくお願いいたします。

以上、全国各地でのOBの皆様のご活躍とご健勝を祈念しまして、ごあいさつとさせていただきます。

## 副会長再任にあたり御挨拶

大東文化大学ラグビー部 OB 会  
副会長 古川 裕之 (3期)

大東文化大学ラグビー部 OB の皆様には、ますますご健勝のことと拝察いたします。

この度、5月19日に開催されました OB 総会で副会長に再任をいただきました3期の古川です。

高松会長、小森事務局長、事務局員の皆様を補佐し、現役、監督、コーチングスタッフの支援と創部50周年記念事業開催に微力ですが尽力してまいります。

さて、皆様もご承知と思いますが、大東文化大学ラグビー部は来年で創部50年となります。

これも OB の皆様が4年間大学で勉強し、またラグビー部員としてそれぞれの年代でご活躍をされました。

そのご活躍が重なりあった魂を皆様は引継ぎ、今日まで継続されていることは OB の絆の証であり、喜ばしいことであります。

この間、多くの同輩と逢い、人生の生き方を学び、また多くの人に感動を送り届けた OB の皆様、来年の創部50周年記念事業開催にご支援・ご協力をいただき、記念式典にはご出席をして旧知の友と昔話を楽しくご歓談されることを祈念いたし挨拶とさせていただきます。

何卒、24年度の OB 会事務局運営にご支援・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

## 初戦は法政大学に決定

今シーズン本学の初戦は9月9日(日曜日)法政大学です。

会場は熊谷ラグビー場・キックオフ13時です。

諸兄には応援観戦をお願いし下記の通り現役の予定をお知らせいたします。

### 夏期菅平合宿

日程：8月16日～8月24日

場所：菅平エーデルホテル

前期試験終了後8月初旬より菅平出発まで高坂合宿

＊菅平での練習試合スケジュールはホームページにて確認下さい。

### 高坂強化練習

菅平終了後から8月27日(予定)～初戦まで

### 公式戦日程

	日 程	対戦相手	会場	キックオフ
	9月 9日 日曜日	法政大学	(熊谷ラグビー場)	13時
	9月16日 日曜日	拓殖大学	(熊谷ラグビー場)	13時
	9月29日 土曜日	中央大学	(味スタ西競技場)	13時
	10月21日 日曜日	流通経済大学	(ケーズスタジオ)	12時
	11月 4日 日曜日	東海大学	(秩父宮)	14時
	11月10日 土曜日	日本大学	(秩父宮)	12時
	11月24日 土曜日	関東学院大学	(上柚木)	14時

グラウンド所在地等は公式ホームページにて確認下さい。

<http://www.daito-rfc.cm/>

ジュニア戦は未定。

# 平成 23 年度 大東文化大学ラグビー部 OB 会 会計報告

## 収支全体

《全体》

◆ 23 年度会計は、「活動方針」に基づいた取組を着実に進め収入内での運営を行う事が出来ました。

＜収入＞

◆ 会費納入者 79 名（前年比 105.3% ＋ 4 名） 納入額 1,117,000 円（前年比 99.8%）

- ・ 会費納入の人数は前年微増、金額は前年同等の結果となりました。
- ・ 納入者の内訳は、継続率 73%（58 名）新規 27%（21 名）、非継続率 21%（△ 17 名）。  
会費の 7 割は毎年固定化された同一人とみられ、他 3 割は浮動層とみられる。  
これは会費の活用方法や、納入メリットなどに課題を残す結果となりました。

＜支出＞

◆ 小計 406,672 円（予算比 31% 前年比 38.4%）

- ・ 各費目とも大幅に予算を下回る運営となりました。
- これは、食事補助の変更、また大学選手権出場時の予算不足を想定した運営となったためです。

- 1) 23 年度会計報告（案） 平成 23 年度の会計につき、以下の内容をもって報告とする。
- 2) 50 周年準備引当金の増額（案） 50 周年準備金として 30 万増額し 50 万とする。
- 3) 剰余金処分（案） 23 年度剰余金より 50 周年準備金 50 万円を引き当てた残額を 24 年度への繰越金とする。

収入の部		支出の部	
科 目	金額（円）	科 目	金額（円）
繰越金	479,026	慶弔費	30,750
		会報費	107,840
会費納入（79 名）	1,117,000	補助費	251,032
		OB 会活動費	16,000
受取利子	45	手数料（8 件）	1,050
		小計	406,672
		剰余金	1,189,399
		50 周年準備引当金	500,000
		残額	689,399
合 計	1,596,071	合 計	1,596,071

## 参考資料

### 《卒業年度別 会費納入》

卒業年度	人数	金額
1 期 昭和 41 年度	1 名	¥150,000
2 期 42 年度	1 名	¥30,000
3 期 43 年度	3 名	¥40,000
4 期 44 年度	6 名	¥105,000
5 期 45 年度	1 名	¥20,000
6 期 46 年度	4 名	¥40,000
7 期 47 年度	1 名	¥20,000
8 期 48 年度	3 名	¥30,000
10 期 50 年度	4 名	¥40,000
11 期 51 年度	2 名	¥20,000
12 期 52 年度	1 名	¥10,000
13 期 53 年度	5 名	¥50,000
14 期 54 年度	5 名	¥50,000
15 期 55 年度	2 名	¥30,000
16 期 56 年度	1 名	¥10,000
17 期 57 年度	1 名	¥10,000
18 期 58 年度	4 名	¥50,000
19 期 59 年度	3 名	¥30,000
20 期 60 年度	1 名	¥10,000
21 期 61 年度	6 名	¥75,000
22 期 62 年度	4 名	¥45,000
23 期 63 年度	5 名	¥60,000
24 期 平成元年度	4 名	¥45,000
26 期 3 年度	1 名	¥10,000
27 期 4 年度	3 名	¥25,000
28 期 5 年度	1 名	¥10,000
29 期 6 年度	2 名	¥20,000
32 期 9 年度	1 名	¥15,000
38 期 15 年度	1 名	¥10,000
42 期 19 年度	1 名	¥10,000
43 期 20 年度	1 名	¥25,000
有志		¥22,000
	79 名	¥1,117,000

### 《支出明細》

慶弔費		
6 期 山本 初	生花代	15,750
18 期 平山 浩志	生花代	15,000
		30,750
会報費		
会報	ハガキ・印刷	33,000
	郵税	41,840
	ハガキ・印刷	33,000
		107,840
補助費		
現役シーズンイン激励差し入れ	ステーキ肉	35,568
現役激励会	バーベキュー	215,464
		251,032

平成 24 年 5 月 19 日

会 長 高松 宏惟（2 期）

会 計 島田 治（21 期）

# 平成 24 年度 大東文化大学ラグビー部 OB 会 予 算

## 考 え 方

- ◆平成 24 年度の会計は、本年度活動方針にに基づき、優先事項を明確に運営してまいります。
- ◆収入面においては、OB 会活動への理解を深めるとともに、適宜会報での納入依頼を行うなど安定した会費納入を促進してまいります。
- ◆支出面においては、現役支援を念頭に計画的・費用対効果を勘案し「収入に見合った活用」で健全な会計を行ってまいります。
- ◆50 周年準備金の費目は今年度を最後とし次年度より削除します。

1) 24 年度予算（案） 平成 24 年度の予算につき、以下の内容をもって提案とする。

### 【収入】

- ① 繰越金 23 年度剰余金を、24 年度会計に繰越金として計上します。

繰越金	689,399 円	前年比 144%
-----	-----------	----------

- ② OB 会費納入 23 年度納入率を真摯に受け止め、更なる OB 会活動強化を行い参加意識を高めます。

予算	1,300,000 円	前年比 116.4%
----	-------------	------------

### 【支出】

- ③ 慶弔費 慶弔時は未定。会則に基づいた運用を徹底し、前年同額を予算化します。

予算	50,000 円	前年比 162.3%
----	----------	------------

- ④ 会報費 会員の増加（新 OB）を勘案し、前年同額を予算化します。（総会報告、活動報告、総会告知 他）

予算	180,000 円	前年比 167%
----	-----------	----------

- ⑤ 補助費 現役にモチベーション向上、監督スタッフ支援、リクルート活動支援を中心に、強化します。

予算	500,000 円	前年比 200%
----	-----------	----------

- ⑥ OB 会活動費 全国 OB との交流、地域幹事の活動支援に伴い強化します。

予算	50,000 円	前年比 312.5%
----	----------	------------

- ⑦ 50 周年準備金 50 周年準備金として前年同額を 24 年度会計より引き当てる。  
これにより準備金は 22・23・24 年度合計 120 万とし、周年企画および現役支援に使用します。  
尚、本年度をもって会計費目より削除します。

予算	500,000 円	前年比 100%
----	-----------	----------

収入の部		支出の部	
科 目	金額（円）	科 目	金額（円）
繰越金	689,399	慶弔費	50,000
		会報費	180,000
会費納入	1,300,000	補助費	500,000
		OB 会強化費	50,000
		50 周年引当金	500,000
		その他	9,399
		小計	1,289,399
		(22・23 年度積立金)	700,000
合 計	1,989,399	合 計	1,989,399

平成 24 年 5 月 19 日

会長 高松 宏惟（2 期）

会計 島田 治（21 期）

## 平成 24 年度の会費の御賛助をお願いいたします。

今年も諸兄には、会費と学生支援金の御賛助をお願いいたします。

会費は本年 4 月以降振込分が 24 年度会費ですのでお間違いの無いように  
お願いします。

尚、本年度の会費賛助者は、随時大東文化大学ラグビー部公式ホームページ  
OB 会コーナーに掲載させていただきます。

大東文化大学ラグビー部公式ホームページ

アドレス：<http://www.daito-rfc.cm/>

OB 会コーナー

ログイン ID：daito-bunka

パスワード：obclub

### 記

#### 年会費の納入について

##### ※ご注意

振込に際しましては、氏名の前に卒業年度を西暦で入力下さい。  
全会員の名簿と照らし合わせての入金確認のためご協力下さい。

年 会 費	一口 5 千円（出来れば二口以上の協力をお願いします。）
学生支援金	5 千円（金額を問わず協力下さい。）
振 込 先	三井住友銀行 新宿西口支店 店番 2 5 9
預 金 種 目	普通預金 口座番号 9 5 8 6 1 1 0
名 義 人	大東文化大学ラグビー部 OB 会

※会費への問い合わせ先（OB 会全般への問い合わせ窓口）

〒 227-0055 神奈川県横浜市青葉区つつじが丘 2-3-105

大東文化大学ラグビー部 OB 会

事務局長 小森 徹志 第 16 期（現ラグビー部運営担当コーチ）

自宅電話 0 4 5 - 9 8 3 - 4 8 0 8

会社電話 0 3 - 6 4 4 7 - 2 9 5 5

会社FAX 0 3 - 6 4 4 7 - 2 9 5 6

携 帯 0 9 0 - 4 7 5 7 - 3 7 1 8

自宅 PC アドレス [cmckomori@juno.ocn.ne.jp](mailto:cmckomori@juno.ocn.ne.jp)

会社 PC アドレス [yoyogikotobuki@feel.ocn.ne.jp](mailto:yoyogikotobuki@feel.ocn.ne.jp)

## OBの皆様へ【チャレンジ1】

昨年は、後輩たちのためにお忙しい中、試合会場及びグラウンドの方に足を運んでいただき誠にありがとうございました。また、シーズン途中には美味しいお肉の差し入れまでしていただき、学生たちのパワーの源にもなりました。

OBの皆様の励ましのお言葉、また、いろいろと支援していただいたお陰もあり、昨年も全国大会に出場することができました。ただ、全国大会では、2期連続関西チームに大敗したことについては、スタッフの力不足もあり反省しております。

今年から春の交流戦が始まり、帝京大学・筑波大学・明治大学・早稲田大学という強豪チームとの試合を行うことが出来ました。しかし、結果をみる限りでは満足できない状況ですが、試合内容については、私たちが求めているラグビーに一步步ずつ近づいております。

表題に記しました【チャレンジ1】は、今年のスローガンです。

これを基にして

### ①大東文化大学のメインコンセプトを確立させる

#### 5つのターゲット

- ・激しいタックル・ブレイクダウンからターンオーバーしトライ
- ・連続攻撃で相手ディフェンスを寄せてウィングでトライ
- ・ラインアウトからモールドライブでトライ
- ・レッドゾーンからの脱出（地域挽回のキック・ボール再獲得）
- ・キックオフから次の攻撃でチャンスを作る。

### ②ラグビーに対する取組姿勢で一流になる。

- ・たとえプレーは二流でも取組は一流であれ
- ・試合の勝敗はグラウンド（高坂）にありを徹底
- ・選手間でよりよいプレッシャー（ミスと怠慢には厳しく良いプレーは誉める環境）
- ・問題解決はその日のグラウンドで行う
- ・練習・栄養・休養をしっかりと
- ・チーム内ルール、寮内ルール、社会的ルールを厳守

一歩でも前に、1センチでも前に出る、1日でも長くこのチームで試合をする。そしてナンバー1を目指すのが今年の目標です。まだまだ復活という名にはほど遠いですが、これからシーズンまでにしっかりとしたチーム作りをし、チーム一丸となって9月の本番のリーグ戦から力を発揮できるように頑張っていきますので、今後ともご声援、よろしくお願いします。

大東文化大学ラグビー部

監督 青木 忍

平成24年度指導者名簿

	役 職 担 当	氏 名
1	監 督	青 木 忍
2	ヘッドコーチ	太 田 政 則
3	コーチ 運営担当	小 森 徹 志
4	コーチ フォワード・リクルート	須 藤 幸 治
5	コーチ フォワード	日 下 唯 志
6	コーチ スクラム	坂 本 肇
7	コーチ バックス	星 野 一 郎
8	コーチ バックス・ストレンガス	山 内 智 一
9	アドバイザー	ラトゥ ウィリアム 志南利 (旧姓 シナリ ラトゥ)
10	トレーナー	平 沼 大 輔
11	トレーナー	中 島 秀 典
12	トレーナー	渡 部 賢 二
13	トレーナー	関 口 純 裕

学生幹部名簿

役 職	氏 名	学年	出 身 校
主 将	茂 野 海 人	4年	江の川
副 将	川 端 尚 也	4年	東海大相模
副 将	福 津 輝	4年	札幌山の手
副将・寮長	種 市 則 之	4年	三本木農
主 務	高 橋 隼	4年	深谷
副 務	梶 本 嵩 顕	2年	新田
会 計	木村 遼太郎	4年	大東一高
副会計	井 東 祐 介	3年	大東一高
副寮長 学年リーダー	高 橋 洋 丞	3年	正智深谷
学年リーダー	梶 伊 織	3年	御所実業



## 平成 23 年度会費納入者（敬称略）

下記の皆様から昨年度の会費を受領致しました。ご協力ありがとうございました。本年度もご協力をお願い致します。

	期	卒業年度	氏 名
1	1 期	S41 年度（1966）	寺 沢 俊 治
2	2 期	S42 年度（1967）	高 松 宏 惟
3	3 期	S43 年度（1968）	澤 畠 英 治
4		S43 年度（1968）	古 川 裕 之
5		S43 年度（1968）	齋 藤 裕 司
6	4 期	S44 年度（1969）	福 山 寛
7		S44 年度（1969）	渋 木 邦 彦
8		S44 年度（1969）	小野瀬 実
9		S44 年度（1969）	岡 部 健 二
10		S44 年度（1969）	福 地 稔 之
11		S44 年度（1969）	渡 辺 仁
12	5 期	S45 年度（1970）	栗 田 晴 彦
13	6 期	S46 年度（1971）	鏡 保 幸
14		S46 年度（1971）	吉 羽 茂
15		S46 年度（1971）	只 野 幸 一
16		S46 年度（1971）	中 村 雄 司
17	7 期	S47 年度（1972）	宮 澤 重 徳
18	8 期	S48 年度（1973）	仙 道 輝 夫
19		S48 年度（1973）	二 俣 昌 司
20	10 期	S48 年度（1973）	渡 辺 寛
21		S50 年度（1975）	小 田 重 弥
22		S50 年度（1975）	菊 地 政 光
23		S50 年度（1975）	山 崎 健 司
24		S50 年度（1975）	根 本 浩 一
25	11 期	S51 年度（1976）	青 木 修
26		S51 年度（1976）	対 馬 憲 二
27	12 期	S52 年度（1977）	佐 藤 省 吾
28	13 期	S53 年度（1978）	北 弘 和
29		S53 年度（1978）	隅 田 敦 司
30		S53 年度（1978）	梁 健 宏
31		S53 年度（1978）	櫛 引 彰
32		S53 年度（1978）	須 田 稔
33	14 期	S54 年度（1979）	饒平名 雅弘
34		S54 年度（1979）	川 口 輝 彦
35		S54 年度（1979）	北 田 宣 明
36		S54 年度（1979）	室 田 利 弘
37		S54 年度（1979）	小 原 善 浩
38	15 期	S55 年度（1980）	山 田 哲 良
39		S55 年度（1980）	黒川 不二男
40	16 期	S56 年度（1981）	小 森 徹 志
41	17 期	S57 年度（1982）	一 瀬 一 美

	期	卒業年度	氏 名
42	18 期	S58 年度（1983）	藤 本 茂 樹
43		S58 年度（1983）	奥 村 敬 一
44		S58 年度（1983）	平 山 浩 志
45		S58 年度（1983）	三 野 貴 之
46	19 期	S59 年度（1984）	丸 本 良 之
47		S59 年度（1984）	浜 川 和 也
48		S59 年度（1984）	野 沢 龍 二
49	20 期	S60 年度（1985）	中 村 勝 次
50	21 期	S61 年度（1986）	島 田 治
51		S61 年度（1986）	高 橋 明 彦
52		S61 年度（1986）	大 橋 勝
53		S61 年度（1986）	反 町 光 一
54		S61 年度（1986）	並 木 孝 喜
55	2 2 期	S61 年度（1986）	飯 島 均
56		S62 年度（1987）	矢 嶋 雅 人
57		S62 年度（1987）	須藤 智亜紀
58		S62 年度（1987）	黒 澤 誠
59	23 期	S62 年度（1987）	上 野 勇
60		S63 年度（1988）	日 下 唯 志
61		S63 年度（1988）	庄 子 進 一
62		S63 年度（1988）	須 藤 幸 治
63	24 期	S63 年度（1988）	中 村 耕 一
64		S63 年度（1988）	荒 井 規 雄
65		H 元年度（1989）	落 合 滋
66		H 元年度（1989）	小 島 俊 昭
67	26 期	H 元年度（1989）	青 木 忍
68		H 元年度（1989）	大 村 武
69	26 期	H 3 年度（1991）	木 田 敏 行
70	27 期	H 4 年度（1992）	星 野 一 郎
71		H 4 年度（1992）	木 全 祐 介
72		H 4 年度（1992）	釜 沢 晋
73	28 期	H 5 年度（1993）	辻 拓 哉
74	29 期	H 6 年度（1994）	酒 井 宏 之
75		H 6 年度（1994）	米 田 政 朋
76	32 期	H 9 年度（1997）	中 島 秀 典
77	38 期	H15 年度（2003）	相 亮 太
78	42 期	H19 年度（2007）	牧 野 隼 人
79	43 期	H20 年度（2008）	上四元 俊治

## 編集後記

先日の総会にて事務局長に再任頂きました。この重責を頂き5年目を迎えます。

私がOB会に関わるようになったのは、故田中正紀前OB会長や藤本茂樹氏（18期）からのお誘いを受けた平成20年4月の事でした。

OB会の再生という事で田中正紀会長・鏡保幸副会長そして事務局長として私が加わりました。その後田中先輩のご逝去もあり現在の高松会長・古川副会長の体制となりました。

また、青木忍監督就任にあたり総務担当スタッフとしてコーチの一員に加わり4年目を迎えます。

高坂を巣立って31年経つ私が今高坂に通うようになるとは考えていませんでした。

スタッフとして4年目と言えは31年前の大学4年の時と同じなのかと思うと感慨というより苦笑するこの頃ですが、スタッフに加わったことで教えられたり気づいたりすることが多々あります。

「やっぱりラグビーはいいな」と素直に感じられるのは、現役学生達の葛藤を間近で見ることが出来る事であり、グラウンドで役に立たなくともそれなりに自分の役目が有ることでチームの一員という充実感も得ることが出来ます。また、自分の息子より年下の現役学生達と自分が学生時代との根本は変わらないという事……

この年になって若い頃の自分の至らなさ・弱さ・しかし持っていた無鉄砲なエネルギーを思い出すことで今自分がどう生きるべきか・恥ずべき所はないのか等考えさせられます。

諸兄におかれても、時として学生時代の高坂の情景を思い出す一瞬（とき）が有るのではないのでしょうか。

レギュラーとして輝けた人・ファーストジャージを纏うことなく卒業した人……

しかし、各人があのグラウンドで汗を流し・寮で笑ったり泣いたりしたことは今の自分を形成した一瞬（とき）ではないのでしょうか。

諸兄も、もう一度あの一瞬（とき）を思い出しあの一瞬（とき）こうして貰えたら等を考えませんか。

私達が巣立った高坂で今、泣き・笑い・ふて腐れそして勝とうと葛藤する現役学生達を支援するためにも、苦楽を共にした旧友との交流の為にもこのOB会の活動に積極的関わりをお願いいたします。

末尾ながら関西でのOB懇親会の歴史は長く・熱いということをこの4年間で感じました。

また、東芝BRAVELUPUSでの大東OBの結束等…

まだまだ事務局の力不足なのですが、OBの結束を強くし諸兄と共に母校が国立競技場で歓喜を迎える日を望みます。

大東文化大学ラグビー部OB会  
事務局長 小 森 徹 志 (第16期)